

令和元年度

自平成 31 年 4 月 1 日

至令和 2 年 3 月 31 日

事業報告書

学校法人鈴鹿医療科学大学

目次

I	事業報告	頁
	一. 法人の概要	1
	1. 法人名と所在地	
	2. 学校法人の沿革	
	3. 建学の精神と教育の理念	
	4. 設置する学校・学部・学科・研究科及び附属機関	
	5. 設置する学部・学科等の入学定員、現員数	
	6. 役員・教職員数	
	7. 組織図	
	二. 事業の概要～令和元年度事業計画に係る達成度報告	6
	三. 財務の概要	15
	主要な財務数値の推移、他	
II	計算書類（令和元年度）と概要	21
	1. 資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	
	2. 事業活動収支計算書	
	3. 貸借対照表・財産目録	
III	監査報告書	26

I. 事業報告

一. 法人の概要 (令和2年3月31日現在)

1. 法人名と所在地

法人の名称：学校法人鈴鹿医療科学大学

所在地：三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1

2. 学校法人の沿革

平成3年4月	「鈴鹿医療科学技術大学」を開学（保健衛生学部：放射線技術科学科・医療栄養学科、医用工学部：医用電子工学科・医用情報工学科開設）
平成8年4月	大学院「医療画像情報学研究科・医療画像情報学専攻（修士課程）」を開設
平成9年4月	保健衛生学部放射線技術科学科の入学定員を80名から100名に増員
平成10年4月	大学名称を「鈴鹿医療科学大学」に変更
平成11年4月	大学院研究科の名称を「保健衛生学研究科」に変更し、「医療画像情報学専攻（博士後期課程）」および「医療栄養学専攻（修士課程）」を開設
平成11年7月	東洋医学研究所を設立
平成12年4月	保健衛生学部医療栄養学科が「管理栄養士養成施設」に指定
平成14年4月	保健衛生学部「理学療法学科」を開設 医用工学部医用電子工学科を「臨床工学科」に名称変更
平成16年4月	保健衛生学部「医療福祉学科」を開設 「鍼灸学部鍼灸学科」を開設
平成20年4月	白子キャンパスに「薬学部薬学科」を開設 医療福祉学科に「保育士養成課程」を設置
平成21年4月	大学院に東京サテライトキャンパスを設置
平成22年4月	大学院研究科に「医療科学研究科・医療科学専攻」を設置し、「保健衛生学研究科」は募集停止
平成23年4月	保健衛生学部医療栄養学科の入学定員を40名から80名に増員し、「管理栄養コース（管理栄養士養成課程）」および「臨床検査コース（臨床検査技師養成課程）」を設置
平成25年4月	保健衛生学部「鍼灸学科」を開設し、「鍼灸学部鍼灸学科」は募集停止 保健衛生学部医療福祉学科に「医療福祉コース」および「臨床心理コース」を設置し、「保育士養成課程」は募集停止
平成26年4月	白子キャンパスに「看護学部看護学科」および大学院研究科「薬学研究科・医療薬学専攻」を開設
平成28年9月	大学院に名古屋サテライトキャンパスを設置
平成29年4月	千代崎キャンパスに「鈴鹿医療科学大学附属こころの相談センター」および「鈴鹿医療科学大学附属こころのクリニック」を開設
平成30年4月	保健衛生学部医療栄養学科「管理栄養コース」、「臨床検査コース」を保健衛生学部医療栄養学科「管理栄養学専攻」、「臨床検査学専攻」に名称変更 保健衛生学部医療福祉学科「医療福祉コース」、「臨床心理コース」を保健衛生学部医療福祉学科「医療福祉学専攻」に臨床心理コースを「臨床心理学専攻」に名称変更 保健衛生学部鍼灸学科を保健衛生学部「鍼灸サイエンス学科」に名称変更
平成31年4月	保健衛生学部医療栄養学科臨床検査学専攻の入学定員を40名から50名に増員 保健衛生学部「リハビリテーション学科」を開設し、「理学療法学専攻」及び「作業療法学専攻」を設置 保健衛生学部理学療法学科は募集停止

保健衛生学部鍼灸サイエンス学科に「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」および「鍼灸学専攻」を設置

3. 建学の精神と教育の理念

- <建学の精神> 科学技術の進歩を真に人類の福祉と健康の向上に役立たせる
 <教育の理念> 知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉スペシャリストの育成
 <教育目標>
 - ① 高度な知識と技能を修得する
 - ② 幅広い教養を身につける
 - ③ 思いやりの心を育む
 - ④ 高い倫理観を持つ
 - ⑤ チーム医療に貢献する

4. 設置する学校・学部・学科・研究科及び附属機関

学 部	学 科	備 考
保 健 衛 生 学 部	放 射 線 技 術 科 学 科	
	医 療 栄 養 学 科	管理栄養学専攻 臨床検査学専攻
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻 作業療法学専攻
	理 学 療 法 学 科	
	医 療 福 祉 学 科	医療福祉学専攻 臨床心理学専攻
	鍼灸サイエンス学科	鍼灸学専攻 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
医 用 工 学 部	臨 床 工 学 科	
	医 用 情 報 工 学 科	
薬 学 部	薬 学 科	
看 護 学 部	看 護 学 科	

大 学 院	専 攻 名	備 考
医 療 科 学 研 究 科	医 療 科 学 専 攻	
薬 学 研 究 科	医 療 薬 学 専 攻	

附 属 機 関	機 関 名	備 考
	図 書 館	
	健 康 管 理 セ ン タ ー	
	I R 推 進 室	
	底 力 教 育 推 進 セ ン タ ー	
	東 洋 医 学 研 究 所	
	社 会 連 携 研 究 セ ン タ ー	
	I C T 教 育 セ ン タ ー	
	鍼 灸 治 療 セ ン タ ー	
	こ ころ の 相 談 セ ン タ ー	
	こ ころ の ク リ ニ ッ ク	
	学 生 相 談 室	
	学 生 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー	

5. 設置する学部・学科等の入学定員、現員数

令和元年5月1日現在（単位：人）

学部	学科	入学定員数	収容定員数	現員数	備考
保健衛生学部	放射線技術科学科	100	400	499	
	医療栄養学科				
	管理栄養学専攻	40	160	166	
	臨床検査学専攻	50	180	205	
	リハビリテーション学科				
	理学療法学専攻	40	40	45	学年進行中
	作業療法学専攻	40	160	43	学年進行中
	理学療法学科	—	120	129	令和元年度募集停止
	医療福祉学科				
	医療福祉学専攻	30	120	93	
	臨床心理学専攻	30	120	113	
	鍼灸サイエンス学科	30	120	97	
鍼灸学専攻	—	—	—		
鍼灸・スポーツトレーナー学専攻	—	—	—		
医用工学部	臨床工学科	40	162	198	
	医用情報工学科	30	120	117	
薬学部	薬学科	100	600	658	
看護学部	看護学科	80	320	356	
計		610	2,622	2,719	

大学院	専攻	課程	入学定員	収容定員	現員数	備考
医療科学研究科	医療科学専攻	博士	5	15	14	
		修士	30	60	52	
薬学研究科	医療薬学専攻	博士	2	8	8	
計			37	83	74	

6. 役員・教職員数

① 役員・評議員に関する事項

令和元年5月1日（単位：人）

職名	区分	人数
理事	1号理事	1
	2号理事	2
	3号理事	7
計		10

職名	人数
監事	2

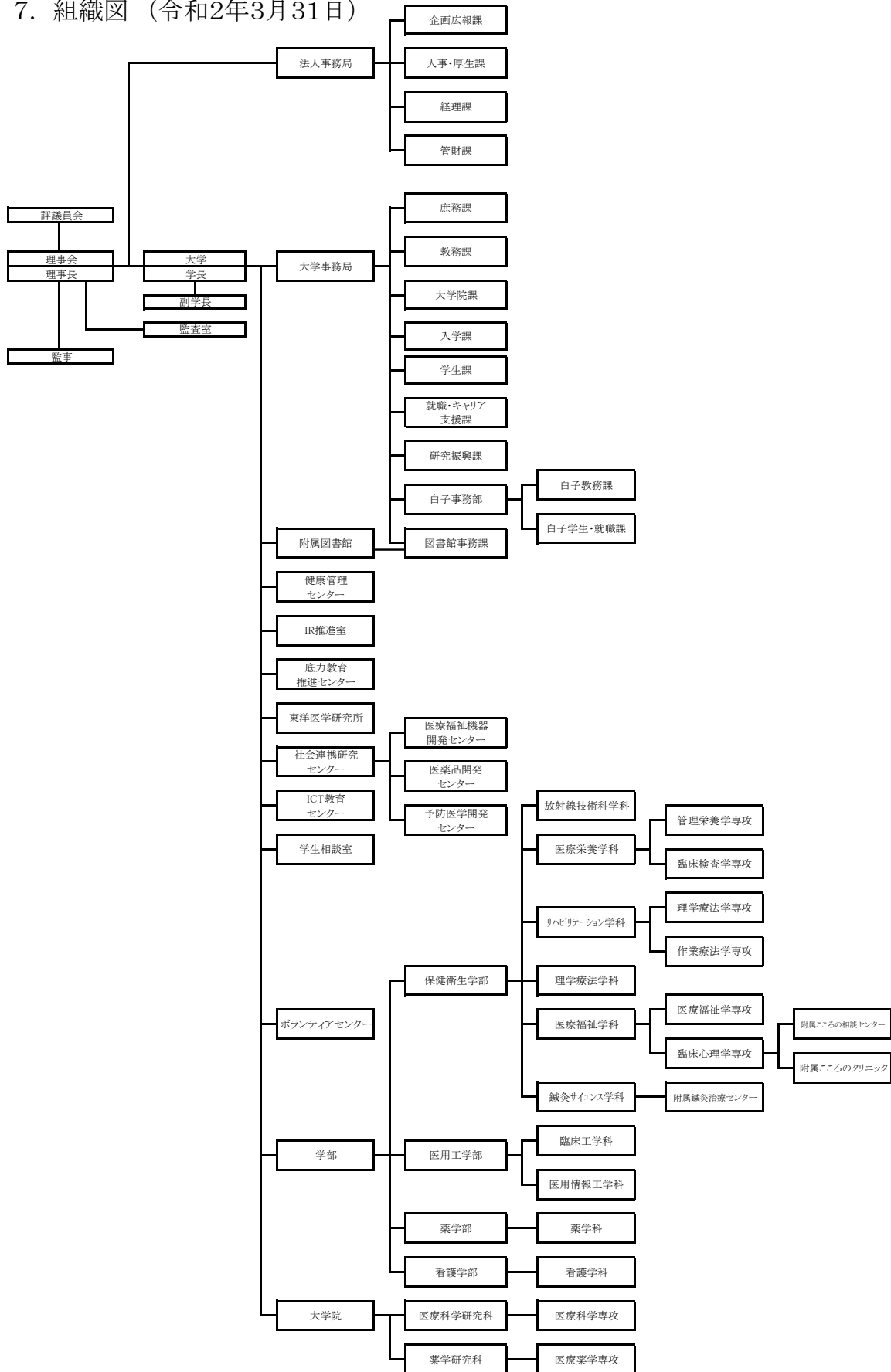
職名	区分	人数
評議員	法人職員	8
	卒業者	4
	学識経験者	14
計		26

② 教職員に関する事項

令和元年5月1日（単位：人）

区分	学部	専任	非常勤	合計
教員	保健衛生学部	94	45	139
	医用工学部	24	11	35
	薬学部	49	21	70
	看護学部	36	12	48
	東洋医学研究所	1	0	1
	教員計	204	89	293
職員		60	3	63

7. 組織図 (令和2年3月31日)



二. 事業の概要～令和元年度(2019年度)事業計画の達成報告

1. 大学の拡充と将来構想

(A) 大学に関する事業

平成31年4月、保健衛生学部理学療法学科をリハビリテーション学科に改組し、従来学科の理学療法学専攻に加え、三重県で大学として初の「作業療法士」養成校である「作業療法学専攻」を新設し、43名(入学定員40名)の新入生を迎えることができました。作業療法学専攻では、医療人としての教育はもとより「地域で働ける作業療法士」「専門性を持った作業療法士」の養成という2本柱で教育を展開していきます。

また、保健衛生学部鍼灸サイエンス学科では、これまでのスポーツトレーナーに関連する教育をさらに強化するために「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」教育課程を新設し、34名(入学定員30名)の新入生を迎えることができました。「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」では、鍼灸学に加え、スポーツ医学とトレーナーの知識・技術を修得し、アスリートや患者さんに対してパーソナルなトレーニング指導を行い、競技におけるパフォーマンス向上や健康増進に寄与できる人材を育成していきます。

さらに、令和元年9月、文部科学省より令和2年度から看護学部の入学定員を80名から100名にする収容定員増加の認可を受けました。これにより大学全体の収容定員は完成年度である令和5年度には2,720名となります。

なお、現在は大学設立当初からの医用工学部医用情報工学科を改組し、令和3年4月に医用工学部医療健康データサイエンス学科を開設するための準備を進めています。医用情報工学科開設からおよそ30年経過した今、時代は大きく変化し種々のデータを活用して医療健康に役立てることができる人材の育成が求められています。医療健康データサイエンス学科では、データの意味を理解しデータ環境を構築し、さらにAIやIoT(モノのインターネット)、ビッグデータなど最新の手法を駆使してデータを分析し、様々な課題解決のためのプロジェクトをマネジメントすることができる医療健康分野のデータサイエンティストを育成します。

(B) 大学院に関する事業

平成31年4月、大学院医療科学研究科医療科学専攻修士課程に看護学分野の教育課程を設置し、広い視野に立ち専門分野の学識を深め、科学的な思考力、実践力、教育力、指導力を養いリーダーシップを発揮できる看護実践者や臨床教育者などの高度実践教育者を育成するための教育をスタートさせました。

また、令和2年度より大学院医療科学研究科医療科学専攻修士課程臨床検査学分野に細胞検査士養成コースを開設します。本コースでは、臨床検査技師を対象に、

働きながら細胞検査士の資格を取得し、修士の学位取得とともに高度な専門教育を行います。

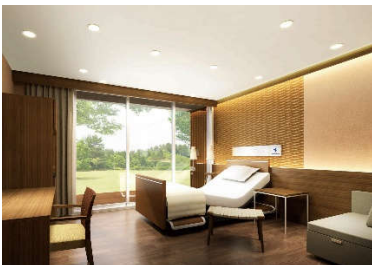
(C) 大学附属桜の森病院の設立準備

令和3年春、完全独立型緩和ケア専門病院である鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院の開設に向けて、病院建築と体制整備に向けた準備を進めています。この大学附属病院は、本学白子キャンパス内に延べ床面積約3,400㎡、全室個室の入院、緩和ケア病床25床を設け、地域の診療所や急性期病院との連携を図り、緩和ケアを担います。また、医療専門職を養成する本学の利点を生かし、多職種によるチーム医療を行うとともに学生に学びの場を提供します。

【緩和ケア病院 外観】



【緩和ケア病院 内観】



病室



エントランスホール



食堂兼ダイニング

2. 大学広報の強化

全国展開を視野に入れた効果的な広報の充実化を図るため、ターゲットの分析、広告広報の費用対効果の測定、広報媒体の見直しによる広報戦略のPDCAを実施しました。

■ターゲット分析（令和元年度入試より）

「アクセスオンライン」（資料請求者管理システム）と「受験者情報」から、本学への志願者動向の分析を行いました。

■新聞、テレビ、ラジオなどのマスメディアを利用した広告 PR 活動について

県内報道機関へ本学の教育・研究・社会貢献活動に関する情報発信を行い、新聞広告やメディアへの掲載について、新設学科・専攻に関するタイムリーな情報発信や積極的な広報活動を行いました。

- ・プレスリリース：計 19 件に対して
記事掲載件数：延べ 66 件
- ・メディア掲載状況：計 92 件 ※上記 66 件を含む
(テレビ/ラジオ 24 件、新聞 62 件、雑誌 6 件)
- ・新聞広告/メディア協賛：計 16 件
(テレビ/ラジオ 7 件、新聞 6 件、雑誌 3 件)

■ホームページの充実化

ホームページにおいて、新着情報の迅速な発信とコンテンツの見直し及び拡充を行い、以下のサイトを整備しました。

「作業療法学専攻と鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」の追加 (令和元年 4 月公開)

「新入生応援サイト」の新規制作 (令和 2 年 3 月公開)

「社会連携研究センターサイト」内の統合に向けて企画設計 <制作中>

「東洋医学研究所」 <サイトリニューアル> (令和 2 年 3 月公開)

「女子学生寮・学生指定寮」 <web 申込の機能追加> (令和元年 9 月)

◇新入生応援サイト https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/event/new_student/

◇東洋医学研究所 <https://www.suzuka-u.ac.jp/facilities/toyo/>

■公式 SNS の運用強化

今年度運営 3 年目の公式 SNS (LINE/Instagram) を利用し、ユーザーの意向に沿う情報発信を行いました。今後も広告効果を一時的なものにしないために公式 SNS を活発に活用し、本学独自の教育内容・方法を発信していきます。

LINE 投稿件数 27 件 (メッセージ 20 件、タイムライン 7 件)、友達追加数 825 名
Instagram 投稿件数 32 件、フォロワー数 295 名を獲得しました。

◇LINE <https://line.me/R/ti/p/%40y1f0375s>

◇Instagram <https://www.instagram.com/suzukairyo/>

■動画・紙媒体などを利用した情報発信

大学紹介動画のリニューアルを行い、7 月末にホームページで公開しました。オープンキャンパスでの使用やホームページ「受験生応援サイト」でも公開し、本学の特色を分かり易く発信しています。また、広報誌「SUMS News」を年 4 回発行し、各学科の教育研究活動や学生生活を紹介しています。

◇ 鈴鹿医療科学大学 OPEN CAMPUS 2019

ホームページの掲載先：<https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/event/special/gallery.html>

動画の URL：<https://www.youtube.com/watch?v=CTA7HvwHE7g>

◇ 鈴鹿医療科学大学 紹介動画

ホームページの掲載先：<https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/etc/movie.html>

動画の URL：<https://www.youtube.com/watch?v=eZ6hlgZTA-0>

3. 教育内容の充実

「IR機能の充実とそれに基づく教育改革の推進」

学科内に IR 推進委員を置き、全学の IR 推進室で扱うシステムを利用できるようにしたことで、各学科の現状把握などリアルタイムに分析が可能となりました。

また、教育の質保証を検討する委員会（教育質保証委員会）を各学科内に設置し、学科等による授業管理の方法、シラバスの整備、カリキュラム編成など多様な側面から検討を行い、教育の質に係る客観的な指標づくりが達成されました。さらに SUMS-PO（学内ポータルサイト）の新機能「学生カルテ」を利用し、学生や担任教員が客観的に学修度を把握できるように、カリキュラムマップやディプロマポリシーを紐づけた仕組みを構築しました。

「学生に合わせた達成度重視の教育の推進」

「とことん分かるまで教育」「何を教えたかではなく、何を身につけたか教育」を実施するために、学生の授業理解度を確認しながら「身につけた教育」を評価する仕組みを作り、達成度を重視した評価方法の整備を行いました。

「学修サポートシステムの導入と活用」

学生一人ひとりのための学修サポート体制を全学で具体化するため「学修サポートシステム」を導入し、学生の自学自習を支援しています。

「学修サポートシステム」を活用した自学自習の仕組みを作り、学生がいつでもどこでも空き時間に利用できる環境整備を行い、全学的な活用を目指しています。

また、国家試験対策の反復学習により、学修指導はもとより、国家試験の合格率を上げるための学修指導や就職活動にも引き続き活用しています。

「国家試験や資格試験に対応し全員合格を目指す教育」

本学の使命のひとつである医療現場等で認められる医療人の育成を目指し、入学前、初年次教育、専門教育、最終学年にわたり資格試験合格を目指す一貫した教育カリキュラムの構築を行います。今後さらに、その質の向上を目指していきます。

「医療人底力教育の更なる充実と発展」

初年次教育である医療人底力教育を、これまでの実績による蓄積と反省に基づき更に充実発展させるため、クォーター科目を増やし、開講学年を移動し、選択科目の選択条件などを見直した新カリキュラムを構築しました。令和2年度新入生からさらに充実した質の高い教育を実施します。

「社会福祉法人サムス会との協働」

社会福祉法人サムス会特別養護老人ホーム「桜の森白子ホーム」について、効果的な実践教育の場として施設側と協働の下、全学科1年次必修科目である「医療人底力教育」、関係学科において教育計画をさらに充実させる実習施設として、またボランティア活動の体験学習の場として教育に役立てています。

4. 学生支援の強化

4月実施の健康診断において「からだの管理」、UPI（メンタルチェック）にて「こころの管理」の検査を実施し、身体や心に問題のある学生の早期発見を行い、担任教員、学生相談室との連携を強化し安心して学業に集中できるようにサポートし解決を目指しています。

・正課外の活動に積極的に取り組み、他者に貢献する活動を通し広く高い社会性を学ぶ学生に対し、サムスポイントを付与する制度を設けています。学内外の活動に積極的に取り組むことで良き医療人として自己研鑽に励む学生を支援し、ボランティア活動などへの参加へ繋げることができました。

・就職・キャリア支援については、学科ごとに就職活動の繁忙になる時期が異なるため、各学科の特性（企業や病院施設ごとの採用手法の違いや、単願・併願等の受験機会数の学科ごとのルール等）に即した就職サポートにおいて、その手法やルールの認識不足が起きないように情報の周知徹底をしています。また、積極的に就職活動を行えるよう学生へのサポートやフォローも同時に行っています。

5. 研究機能の充実及び産学官連携による社会貢献の充実

科学研究費補助金の応募を増加する方針のもと、令和元年度の科学研究費補助金の配分順位が私立大学576校中103位となりました（平成30年度は101位）。

薬学部内の医薬品開発センターと関連する研究室において、機能性食品等の開発に関する企業との共同研究を実施し、商品化に向けた活動を進めています。

・本学の東洋医学研究所において、これまでと同様に近赤外光脳機能イメージング装置（NILS）を活用した「うつ病等の精神疾患の病態解明」を目的として、専門研

究員によるデータ収集・解析を行い、県内企業の製品開発支援としてエビデンス構築を支援しています。

- ・臨床工学科と薬学科の教員がイノベーション・ジャパン 2019（会場：東京ビッグサイト）に出展し、企業関係者が各展示ブースに来場し、企業との共同研究へと展開することができました。

- ・平成 30 年 2 月、本学と鈴鹿工業高等専門学校との間で締結した「学術研究交流に関する協定」に基づき、近隣地域における産業振興、イノベーション創出および人材育成を目的として、それぞれの特色を生かした医療・医学、工学等の分野における学術研究に係る連携推進を図っています。両機関における学術研究の定期的情報交換を行う研究会（SUMS-NITS 医工連携研究会）を今年度は 8 月（会場：鈴鹿高専）と 2 月（会場：本学）に開催し、両校の教員・大学院生をはじめ三重県工業研究所、鈴鹿市内の企業から約 50 名の参加者があり、活気ある交流を推進できました。なお、科学研究費助成金等の獲得に向けて両校の教員による共同研究も積極的に進めています。

- ・薬局薬剤師等在宅医療研修施設（シミュレーション・ラボ：白子キャンパス 1 号館）に、シナリオ・シミュレーター、末梢挿入中心静脈カテーテル PICC シミュレーター、経管栄養シミュレーターなどを新規に設置し、薬剤師を対象に研修会を実施しました。薬学部 4 年次に開講している処方解析学、実務実習事前学習にて、シミュレーターを用い受講生参加型教育を実施しました。

モバイルファーマシーについては、昨年度作成した『在宅医療での簡易無菌操作に関するマニュアル』をもとに研修を実施しました。また、三重県薬剤師会との共催で開催した県民講座において、シミュレーション・ラボ、モバイルファーマシーの役割を広く紹介しました。

6. 国際交流の推進

- ・本学と協定を締結している天津中医薬大学(中国)、中国医薬大学（台湾）と鍼灸サイエンス学科、コンケン大学（タイ）と薬学研究科との学術交流を推進しています。

鍼灸サイエンス学科と天津中医薬大学とは定期的な交流が確立されており、令和元年 12 月 1 日に本学白子キャンパスにおいて開催の第 6 回日本薬膳学会学術総会に中国、マカオ、台湾、シンガポールから約 30 名が参加しました。参加者のためのエクスカージョンを次のとおり実施し、国際交流を深めました。

12 月 2 日：鈴鹿サーキット見学、鈴鹿医療科学大学・薬学部、桜の森特別養護老人施設、鈴鹿ロボケアセンター見学

12 月 3 日：醤油製造会社、薬製造会社の見学や、忍者屋敷見学、組み紐体験などの日本文化を紹介し、交流を図りました。

大学院薬学研究科とコンケン大学医学部との間で、双方の学術および教育・研究活動において相互利益と発展、国際理解と親善を深めることを趣旨として、平成28年10月から5年間の国際交流協定(MOU)を締結しています。今年度も同大学から教員が来日し、研究打ち合わせが行われ共同研究に取り組んでいます。

・国際交流委員会において、学内の各レベル(大学、学部、学科、個人)で実施されている国際協力活動(学術、教育、文化など)の現状調査と情報を収集し、国際交流の推進を図っています。

また、教員や学生が海外渡航中に、事件・事故に万一遭遇した場合の大学としての危機管理体制を整備するため、全学委員会として防災・危機管理対策委員会を設置し、海外危機管理部会で検討しています。

・海外の大学より講師を招聘し、講演会での研究発表や交流の機会を設け、国際交流の機会を広げていく活動にも積極的に取り組んでいます。医療福祉学科では、全米司法ソーシャルワーク機構学術大会報告、6月10日～15日(アメリカ・ラスベガス)日本司法福祉学会学術大会開催、8月24日(本学)ジョージア大学のアンナ・シャヤット氏を講師として招聘し、全体として約200名の参加者がありました。

7. 学長のリーダーシップによる大学活性化のための継続可能な組織体制改革

自己点検・評価を支える「活動計画検討・実行委員会」の活動性を高め、各組織の目標達成に向けて各分掌の現状における課題と目標を明確化し、全教職員が効果的なPDCAサイクルを機能させるため、各学科に教育質保証委員会を設置し、その活動内容を年一回教育改革委員会内で学長に報告する仕組みを作ったが、3月の教育改革委員会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかったことから、早い段階で実施ができるよう体制を整えていきます。

教学に関する意思決定組織の整備と責任の明確性及びその機能性を高めるため、学長、副学長ミーティングを月1回、更に必要に応じて頻繁に実施しており、特に新型コロナウイルス対策については機動的に意思決定ができています。

○危機管理体制の整備

・防災・危機管理対策委員会の活動を開始し、関係部署とともに危機管理に関する諸規程の見直しやガイドラインの策定を行うため、平成31年度は2回(6月、1月)委員会を開催しました。

5チームを編成(自然災害管理・事業継続管理(BCP)／海外危機管理／情報危機管理／研究危機管理／学生危機管理)し、危機管理に関する各諸規程の見直しや不足分の追加、危機管理マニュアル作成に関する報告を行い、今後もさらに様々な危機事象への対応等について大学の実情に応じた危機管理マニュアルの作成に取り組みます。

8. 財務基盤の充実

- ・令和2年度入学生より、学費の改定を以下のとおり実施します。

本学は引き続き、施設設備の充実と教育用医療機器等の更新などを行い、教育環境の整備と教育の質の向上、研究の推進等に取り組んでいきます。

対象者：2020年度以降入学者

●初年度の学費

(単位：円)

学部	学科・専攻	入学金	授業料 (年間)	前期授業料	後期授業料	合計	
保健衛生学部	放射線技術科学科	200,000	1,410,000	705,000	705,000	1,610,000	
	医療栄養学科		管理栄養学専攻	1,050,000	525,000	525,000	1,250,000
			臨床検査学専攻	1,400,000	700,000	700,000	1,600,000
	リハビリテーション学科		理学療法学専攻	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000
			作業療法学専攻	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000
	医療福祉学科		医療福祉学専攻	950,000	475,000	475,000	1,150,000
			臨床心理学専攻	950,000	475,000	475,000	1,150,000
鍼灸サイエンス学科		1,200,000	600,000	600,000	1,400,000		
医工学部	臨床工学科	1,400,000	700,000	700,000	1,600,000		
	医用情報工学科	1,050,000	525,000	525,000	1,250,000		
薬学部	薬学科	1,860,000	930,000	930,000	2,060,000		
看護学部	看護学科	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000		

●2年次以降の学費

(単位：円)

学部	学科・専攻	授業料 (年間)	前期授業料	後期授業料	
保健衛生学部	放射線技術科学科	1,510,000	755,000	755,000	
	医療栄養学科	管理栄養学専攻	1,350,000	675,000	675,000
		臨床検査学専攻	1,500,000	750,000	750,000
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	1,600,000	800,000	800,000
		作業療法学専攻	1,600,000	800,000	800,000
	医療福祉学科	医療福祉学専攻	1,050,000	525,000	525,000
		臨床心理学専攻	1,050,000	525,000	525,000
鍼灸サイエンス学科		1,700,000	850,000	850,000	
医工学部	臨床工学科	1,500,000	750,000	750,000	
	医用情報工学科	1,350,000	675,000	675,000	
薬学部	薬学科	2,040,000	1,020,000	1,020,000	
看護学部	看護学科	1,600,000	800,000	800,000	

- ・経常費補助金に加え、教育分野での補助金の獲得により補助金収入の増加を目指した結果、私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 教育の質的転換）に採択されました（経常費補助金は、前年度比で5,040万円増加）。
- ・大学の研究シーズを基にした受託・共同研究費、寄附金、科学研究費等の外部資金獲得について、平成31年度の実績は次のとおりです。
 - 受託研究：7件 7,229千円（平成30年度：8件 9,527千円）
 - 共同研究：9件 9,098千円（平成30年度：9件 14,612千円）
 - 寄附金：12件 18,675千円（平成30年度：13件 18,570千円）
 - 平成31年度に交付を受けた文部科学省科学研究費補助金（間接経費を含む）74件 77,844千円（私立大学103位／576校）
〔平成30年度：68件 81,640千円（私立大学101位／570校）〕

- ・その他、教育研究設備・装置等に関する補助金制度の積極的な活用による研究設備「スキャナータイプ画像解析装置」の設置や学内のバリアフリー化として事務局の自動ドア化および講堂の多目的トイレの整備などを実施しました。

9. 施設の改修及び教育環境等の改善

令和3年度開設予定の大学附属桜の森病院の建設を進めておりますが、各キャンパスにおいての改修工事は以下のとおり計画的に実施しました。

- ・千代崎キャンパスの設備改修
 - 実験実習棟1階空調設備更改（9月完了）
 - A講義棟空調設備更改4か年計画〈2年目〉（9月完了）
 - 千代崎キャンパス受電設備更新工事4か年計画〈3年目〉（令和2年3月完了）
- ・白子キャンパスの設備改修
 - 白子キャンパス4号館2階の空調設備の改修（12月完了）
 - 講堂 多目的トイレの設置（令和2年3月完了）

10. その他

大学院薬学研究科(4年制博士課程)における自己点検・評価は、文部科学省高等教育局医学教育課 薬学教育係からの通知に従い、「大学院4年制博士課程」完成年度後の成果を含む総括を行い、内容を大学ホームページに公表しました。

三. 財務の概要

(1) 主要な財務数値の推移

(A) 資金収支の推移

・資金収支計算書

(単位：千円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	3,905,005	3,893,115	4,020,295	4,028,300	4,133,199
手数料収入	82,905	79,819	74,943	79,927	82,235
寄付金収入	35,682	25,761	27,072	32,426	30,022
補助金収入	417,477	449,721	415,889	473,730	538,056
資産売却収入	237,268	371,494	439,128	191,854	628,095
付随事業・収益事業収入	38,594	35,092	47,793	57,264	67,625
受取利息・配当金収入	88,434	60,316	87,991	82,284	87,155
雑収入	140,553	113,178	136,052	145,240	199,239
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	650,324	707,956	717,226	786,245	841,512
その他の収入	57,691	120,187	50,467	81,529	52,661
資金収入調整勘定	△ 787,760	△ 689,273	△ 768,244	△ 769,887	△ 905,955
前年度繰越支払資金	3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434
収入の部合計	7,921,233	8,467,439	8,828,458	8,913,239	10,020,278

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費支出	2,447,697	2,502,532	2,596,586	2,582,154	2,780,500
教育研究経費支出	862,734	837,262	901,158	1,010,400	1,003,726
管理経費支出	293,444	342,672	318,476	302,836	322,455
借入金等利息支出	45,503	40,837	36,489	32,527	29,334
借入金等返済支出	319,780	303,120	264,240	247,580	247,580
施設関係支出	266,196	204,919	179,149	498,310	192,694
設備関係支出	190,834	77,074	88,783	203,840	242,437
資産運用支出	204,661	562,357	768,966	193,834	756,777
その他の支出	155,402	180,055	158,065	208,559	637,450
資金支出調整勘定	△ 165,091	△ 163,235	△ 207,781	△ 633,235	△ 211,593
翌年度繰越支払資金	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434	4,018,918
支出の部合計	7,921,233	8,467,439	8,828,458	8,913,239	10,020,278

・活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

	科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	4,567,074	4,591,719	4,722,044	4,807,835
教育活動資金支出計		3,603,874	3,682,466	3,816,220	3,895,390	4,106,682
差引		963,200	909,253	905,824	912,445	920,722
調整勘定等		4,092	43,964	10,573	145,469	△ 5,121
教育活動資金収支差額		967,292	953,217	916,397	1,057,914	915,601
施設整備等活動による資金収支	科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	施設整備等活動資金収入計	55,028	4,968	24	10,492	22,973
	施設整備等活動資金支出計	457,030	281,994	267,933	702,150	435,132
	差引	△ 402,002	△ 277,026	△ 267,909	△ 691,658	△ 412,159
	調整勘定等	△ 49,990	42,637	22,365	355,846	△ 423,440
施設整備等活動資金収支差額	△ 451,993	△ 234,389	△ 245,544	△ 335,812	△ 835,599	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	515,299	718,828	670,853	722,102	80,002	
その他の活動による資金収支	科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	その他の活動資金収入計	330,143	441,595	538,608	293,938	715,250
	その他の活動資金支出計	569,943	906,414	1,069,695	473,940	1,037,576
	差引	△ 239,800	△ 464,819	△ 531,087	△ 180,002	△ 322,326
	調整勘定等	△ 30,486	25,764	4,715	7	△ 5,192
その他の活動資金収支差額	△ 270,286	△ 439,055	△ 526,372	△ 179,995	△ 327,518	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	245,013	279,773	144,481	542,107	△ 247,516	
前年度繰越支払資金	3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434	
翌年度繰越支払資金	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434	4,018,918	

・資金収支計算書関係 財務比率

財務比率名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動資金収支差額比率					
$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	21.1%	20.7%	19.4%	22.0%	18.2%

(B) 事業活動収支の推移

・事業活動収支計算書

(単位：千円)

	科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		教育活動	収入業の活動	3,905,005	3,893,115	4,020,295
	学生生徒等納付金					
	手数料	82,905	79,819	74,943	79,927	82,235
	寄付金	35,682	25,761	27,072	32,426	30,022
	経常費等補助金	364,335	444,753	415,889	464,678	515,083
	付随事業収入	38,594	35,092	47,793	57,264	67,625
	雑収入	140,553	113,178	136,052	145,240	199,239
	教育活動収入計	4,567,074	4,591,718	4,722,044	4,807,835	5,027,403
	支出業の活動					
	人件費	2,482,648	2,548,238	2,641,645	2,645,912	2,831,403
	教育研究経費	1,497,090	1,478,208	1,536,171	1,645,252	1,627,499
	管理経費	362,934	414,186	385,335	370,123	390,221
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	4,342,672	4,440,632	4,563,151	4,661,287	4,849,123
	教育活動収支差額	224,402	151,086	158,893	146,548	178,280
	教育活動外収支					
	収入業の活動					
	受取利息・配当金	88,434	60,316	87,991	82,284	87,155
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	88,434	60,316	87,991	82,284	87,155
	支出業の活動					
	借入金等利息	45,503	40,837	36,489	32,527	29,334
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	45,503	40,837	36,489	32,527	29,334
	教育活動外収支差額	42,931	19,479	51,502	49,757	57,821
	経常収支差額	267,333	170,565	210,395	196,305	236,101
	特別収支					
	収入業の活動					
	資産売却差額	7,215	22,341	25	1,706	0
	その他の特別収入	59,477	9,025	6,106	19,726	34,260
	特別収入計	66,692	31,366	6,131	21,432	34,260
	支出業の活動					
	資産処分差額	110,370	4,289	13,789	87,078	85,642
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	110,370	4,289	13,789	87,078	85,642
	特別収支差額	△ 43,678	27,077	△ 7,658	△ 65,646	△ 51,382
	基本金組入前当年度収支差額	223,655	197,642	202,737	130,659	184,719
	基本金組入額合計	△ 730,218	△ 342,363	△ 313,963	△ 437,886	△ 838,044
	当年度収支差額	△ 506,563	△ 144,721	△ 111,226	△ 307,227	△ 653,325
	前年度繰越収支差額	△ 4,876,668	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178	△ 5,879,405
	基本金取崩額	0	67,000	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178	△ 5,879,405	△ 6,532,730
(参考)						
	事業活動収入計	4,722,200	4,683,400	4,816,166	4,911,551	5,148,819
	事業活動支出計	4,498,545	4,485,758	4,613,429	4,780,892	4,964,100

・事業活動収支計算書関係 財務比率

財務比率名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
人件費比率 $\frac{\text{人件費}}{\text{經常收入}}$	53.3%	54.7%	54.9%	54.1%	55.3%
教育研究経費比率 $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{經常收入}}$	32.1%	31.7%	31.9%	33.6%	31.8%
管理経費比率 $\frac{\text{管理経費}}{\text{經常收入}}$	7.7%	8.9%	8.0%	7.5%	7.6%
事業活動収支差額比率 $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動收入}}$	4.7%	4.2%	4.2%	2.6%	3.5%
学生生徒等納付金比率 $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{經常收入}}$	83.8%	83.6%	83.5%	82.3%	80.8%
經常収支差額比率 $\frac{\text{經常収支差額}}{\text{經常收入}}$	5.7%	3.6%	4.3%	4.0%	4.6%

(C) 財産状況の推移

・貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成27年度 平成28年3月31日 現在	平成28年度 平成29年3月31日 現在	平成29年度 平成30年3月31日 現在	平成30年度 平成31年3月31日 現在	令和元年度 令和2年3月31日 現在
固定資産	17,371,414	16,942,293	16,513,908	16,524,594	16,279,514
有形固定資産	17,053,958	16,623,823	16,186,291	16,203,265	15,964,730
特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
その他の固定資産	17,456	18,470	27,617	21,329	14,784
流動資産	4,616,776	5,006,208	5,496,811	5,942,433	5,804,227
資産の部合計	21,988,190	21,948,501	22,010,719	22,467,027	22,083,741
固定負債	3,780,718	3,547,406	3,337,496	3,153,673	2,962,937
流動負債	1,232,063	1,228,044	1,297,436	1,806,907	1,429,639
負債の部合計	5,012,781	4,775,450	4,634,932	4,960,580	4,392,576
基本金	22,358,640	22,634,003	22,947,965	23,385,852	24,223,396
繰越収支差額	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178	△ 5,879,405	△ 6,532,231
純資産の部合計	16,975,409	17,173,051	17,375,787	17,506,447	17,691,165
負債及び純資産の部 合計	21,988,190	21,948,501	22,010,719	22,467,027	22,083,741

・貸借対照表関係 財務比率

財務比率名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
流動比率 —— 流動資産 —— 流動負債	374.7%	407.6%	423.6%	328.8%	405.9%
総負債比率 —— 総負債 —— 総資産	22.7%	21.7%	21.0%	22.0%	19.8%

① 借入金の状況

(単位：円)

金融機関名	長期借入金	返済期限が1年以内の長期借	短期借入金
市中銀行	2,348,280,000	241,640,000	0
計	2,348,280,000	241,640,000	0

③ 学校債の状況

学校債は発行しておりません。

④ 資金調達の状況

令和元年度は、金融機関からの資金の借入等を行っておりません。

⑤ 外部資金の獲得実績

(i) 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金（補助金）等

・科学研究費補助金助成事業・・・74件 77,844千円（研究代表者及び研究分担者）

(ii) 受託事業や共同研究に伴う研究費等

・受託事業・・・国及び地方公共団体等より 5件 8,490千円、企業等より 7件 6,177千円

・共同研究・・・企業等より 13件 12,650千円

(iii) 民間企業等や同窓会等、個人より得た寄付金等

<一般寄付金>

・鈴鹿医療科学大学 教育支援の会より 6,497千円

・企業等より 19件 23,525千円

⑥ 現物寄付の状況（資産別）

・構築物・・・ 418千円

・教育研究用機器備品・・・ 7,062千円

・図書・・・ 3,807千円

⑥ 決算後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

特記事項なし

(注) 特別の記載なき場合、令和2年3月31日現在の状況です。

Ⅱ. 計算書類（令和元年度）と概要

1. 資金収支計算書・活動区分資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、会計年度中に行われた資金の動きを表したもので、活動区分資金収支計算書は、その資金の動きを活動区分ごとに集計したものです。

当年度は、施設設備の整備を補助金の交付を受けて実施しています。

① 文部科学省 私立学校施設整備費補助金 対象事業

- 白子キャンパス 大講堂における身障者用多目的トイレ及びスロープの設置
- 千代崎・白子キャンパス バリアフリー化のための学内ドア改修

② 文部科学省 私立大学等研究設備整備費等補助金 対象事業

- スキャナータイプ画像解析装置

資 金 収 支 計 算 書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,132,370,000	4,133,199,000	△ 829,000
手数料収入	80,800,000	82,235,270	△ 1,435,270
寄付金収入	29,900,000	30,022,318	△ 122,318
補助金収入	537,984,000	538,056,326	△ 72,326
国庫補助金収入	530,019,000	530,019,000	0
地方公共団体補助金収入	7,965,000	8,037,326	△ 72,326
資産売却収入	631,400,000	628,095,131	3,304,869
付随事業・収益事業収入	66,400,000	67,625,363	△ 1,225,363
受取利息・配当金収入	85,900,000	87,155,000	△ 1,255,000
雑収入	198,960,000	199,238,683	△ 278,683
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	840,290,000	841,512,200	△ 1,222,200
その他の収入	52,660,600	52,660,600	0
資金収入調整勘定	△ 896,245,160	△ 905,955,458	9,710,298
前年度繰越支払資金	4,266,433,855	4,266,433,855	
収入の部合計	10,026,853,295	10,020,278,288	6,575,007

支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,786,780,000	2,780,500,130	6,279,870
教育研究経費支出	1,019,959,919	1,003,726,039	16,233,880
管理経費支出	338,311,427	322,455,782	15,855,645
借入金等利息支出	30,250,000	29,334,127	915,873
借入金等返済支出	247,580,000	247,580,000	0
施設関係支出	196,940,000	192,694,451	4,245,549
設備関係支出	248,680,190	242,437,082	6,243,108
資産運用支出	757,000,000	756,776,608	223,392
その他の支出	637,156,585	637,449,614	△ 293,029
予備費	(7,010,536) 42,989,464		42,989,464
資金支出調整勘定	△ 213,114,169	△ 211,593,392	△ 1,520,777
翌年度繰越支払資金	3,934,319,879	4,018,917,847	△ 84,597,968
支出の部合計	10,026,853,295	10,020,278,288	6,575,007

活動区分資金収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

	科 目		金額
	教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入
手数料収入			82,235,270
一般寄付金収入			30,022,318
経常費等補助金収入			515,083,326
付随事業収入			67,625,363
雑収入			199,238,683
教育活動資金収入計			5,027,403,960
支出		人件費支出	2,780,500,130
		教育研究経費支出	1,003,726,039
		管理経費支出	322,455,782
		教育活動資金支出計	4,106,681,951
		差引	920,722,009
		調整勘定等	△ 5,120,766
	教育活動資金収支差額	915,601,243	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備補助金収入	22,973,000
		施設整備等活動資金収入計	22,973,000
	支出	施設関係支出	192,694,451
		設備関係支出	242,437,082
		施設整備等活動資金支出計	435,131,533
		差引	△ 412,158,533
	調整勘定等	△ 423,439,930	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 835,598,463	
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）			80,002,780
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	有価証券売却収入	628,095,131
		小計	628,095,131
		受取利息・配当金収入	87,155,000
		その他の活動資金収入計	715,250,131
	支出	借入金等返済支出	247,580,000
		有価証券購入支出	756,776,608
		預り金支払支出	3,846,563
		保証金支出	40,000
		小計	1,008,243,171
		借入金等利息支出	29,334,127
		その他の活動資金支出計	1,037,577,298
		差引	△ 322,327,167
	調整勘定等	△ 5,191,621	
	その他の活動資金収支差額	△ 327,518,788	
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）			△ 247,516,008
前年度繰越支払資金			4,266,433,855
翌年度繰越支払資金			4,018,917,847

(注記)

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

項目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	841,512,200	841,512,200	0	0
前期末未収入金収入	52,660,600	43,371,000	9,289,600	0
期末未収入金	△ 119,710,298	△ 96,737,298	△ 22,973,000	0
前期末前受金	△ 786,245,160	△ 786,245,160	0	0
収入計	△ 11,782,658	1,900,742	△ 13,683,400	0
前期末未払金支払支出	614,656,585	202,968,985	411,687,600	0
前払金支払支出	18,906,466	13,714,845	0	5,191,621
期末未払金	△ 191,907,764	△ 189,976,694	△ 1,931,070	0
前期末前払金	△ 19,685,628	△ 19,685,628	0	0
支出計	421,969,659	7,021,508	409,756,530	5,191,621
収入計 - 支出計	△ 433,752,317	△ 5,120,766	△ 423,439,930	△ 5,191,621

2. 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、会計年度中の収支を表すものです。

当年度の収支は1.8億円の収入超過となりました。その主な要因は下記の通りです。

〔収入〕 学生生徒等納付金（平成31年4月に設置したリハビリテーション学科作業療法学専攻の学納金）、補助金（経常費補助金と施設・設備関係補助金）等による収入の増加

〔支出〕 本学ポータルサイト「SUMS-PO」の学修支援機能強化のためのバージョンアップ、本学の基幹ネットワークの入替更新等による支出の増加

事業活動収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

		科目	予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	4,132,370,000	4,133,199,000	△ 829,000	
		手数料	80,800,000	82,235,270	△ 1,435,270	
		寄付金	29,900,000	30,022,318	△ 122,318	
		経常費等補助金	515,011,000	515,083,326	△ 72,326	
		国庫補助金	514,861,000	514,861,000	0	
		地方公共団体補助金	150,000	222,326	△ 72,326	
		付随事業収入	66,400,000	67,625,363	△ 1,225,363	
		雑収入	198,960,000	199,238,683	△ 278,683	
		教育活動収入計	5,023,441,000	5,027,403,960	△ 3,962,960	
教育活動収支	事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異	
		人件費	2,837,358,790	2,831,403,720	5,955,070	
		教育研究経費	1,643,733,005	1,627,499,125	16,233,880	
		管理経費	406,431,427	390,220,981	16,210,446	
		徴収不能額等	0	0	0	
		教育活動支出計	4,887,523,222	4,849,123,826	38,399,396	
		教育活動収支差額	135,917,778	178,280,134	△ 42,362,356	
教育活動外収支	事業活動 収入の部	科目	予算	決算	差異	
		受取利息・配当金	85,900,000	87,155,000	△ 1,255,000	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
			教育活動外収入計	85,900,000	87,155,000	△ 1,255,000
	事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異	
		借入金等利息	30,250,000	29,334,127	915,873	
その他の教育活動外支出		0	0	0		
		教育活動外支出計	30,250,000	29,334,127	915,873	
		教育活動外収支差額	55,650,000	57,820,873	△ 2,170,873	
		経常収支差額	191,567,778	236,101,007	△ 44,533,229	
特別収支	事業活動 収入の部	科目	予算	決算	差異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	33,773,000	34,260,249	△ 487,249	
			特別収入計	33,773,000	34,260,249	△ 487,249
	事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異	
		資産処分差額	51,800,000	85,642,390	△ 33,842,390	
その他の特別支出		0	0	0		
		特別支出計	51,800,000	85,642,390	△ 33,842,390	
		特別収支差額	△ 18,027,000	△ 51,382,141	33,355,141	
〔予備費〕		(11,772,222)			13,227,778	
		基本金組入前当年度収支差額	160,313,000	184,718,866	△ 24,405,866	
		基本金組入額合計	△ 839,980,000	△ 838,043,908	△ 1,936,092	
		当年度収支差額	△ 679,667,000	△ 653,325,042	△ 26,341,958	
		前年度繰越収支差額	△ 5,879,405,348	△ 5,879,405,348	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 6,559,072,348	△ 6,532,730,390	△ 26,341,958	
(参考)						
		事業活動収入計	5,143,114,000	5,148,819,209	△ 5,705,209	
		事業活動支出計	4,982,801,000	4,964,100,343	18,700,657	

3. 貸借対照表と財産目録の概要

貸借対照表は、資産や負債の状況を表すもので、財産目録はその内訳を表すものです。

当年度は、現金預金や減価償却の進行による固定資産の簿価の減少により、総資産額は前年度から減少しておりますが、借入金等の返済により負債額も減少しているため、正味財産（総資産-総負債）は、1.8億円増加してします。

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日

(単位：円)

資産の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,279,514,418	16,524,593,921	△ 245,079,503
有形固定資産	15,964,730,358	16,203,264,868	△ 238,534,510
土地	6,129,303,749	6,129,303,749	0
建物	7,296,207,274	7,520,897,903	△ 224,690,629
その他の有形固定資産	2,539,219,335	2,553,063,216	△ 13,843,881
特定資産	300,000,000	300,000,000	0
その他の固定資産	14,784,060	21,329,053	△ 6,544,993
流動資産	5,804,226,259	5,942,432,644	△ 138,206,385
現金預金	4,018,917,847	4,266,433,855	△ 247,516,008
その他の流動資産	1,785,308,412	1,675,998,789	109,309,623
資産の部 合計	22,083,740,677	22,467,026,565	△ 383,285,888
負債の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,962,936,785	3,153,673,195	△ 190,736,410
長期借入金	2,348,280,000	2,589,920,000	△ 241,640,000
その他の固定負債	614,656,785	563,753,195	50,903,590
流動負債	1,429,638,614	1,806,906,958	△ 377,268,344
短期借入金	241,640,000	247,580,000	△ 5,940,000
その他の流動負債	1,187,998,614	1,559,326,958	△ 371,328,344
負債の部 合計	4,392,575,399	4,960,580,153	△ 568,004,754
純資産の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
基本金	24,223,895,668	23,385,851,760	838,043,908
第1号基本金	23,800,895,668	22,969,851,760	831,043,908
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	323,000,000	316,000,000	7,000,000
繰越収支差額	△ 6,532,730,390	△ 5,879,405,348	△ 653,325,042
翌年度繰越収支差額	△ 6,532,730,390	△ 5,879,405,348	△ 653,325,042
純資産の部 合計	17,691,165,278	17,506,446,412	184,718,866
負債及び純資産の部 合計	22,083,740,677	22,467,026,565	△ 383,285,888

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

一. 資産総額	22,083,740,677 円
内、1. 基本財産	15,979,514,418 円
2. 運用財産	6,104,226,259 円
二. 負債総額	4,392,575,399 円
三. 正味財産	17,691,165,278 円

種 別	金 額
一. 資 産 総 額	
1. 基 本 財 産	
(千代崎キャンパス)	
土地	86,058.73 m ² 4,121,703,749 円
建物	40,829.30 m ² 4,960,525,350 円
構築物	5,359,301 円
教具・校具・備品	1,751 点 1,071,718,286 円
図書	154,576 冊 (種) 435,616,760 円
その他	17,693,544 円
小 計	10,612,616,990 円
(白子キャンパス)	
土地	109,145.75 m ² 2,007,600,000 円
建物	37,459.05 m ² 2,335,681,924 円
構築物	135,500,578 円
教具・校具・備品	2,549 点 783,103,546 円
図書	13,794 冊 (種) 72,911,378 円
その他	32,100,002 円
小 計	5,366,897,428 円
合 計	15,979,514,418 円
2. 運 用 財 産	
預金、現金	4,018,917,847 円
その他	2,085,308,412 円
合 計	6,104,226,259 円
二. 負 債 総 額	
1. 固 定 負 債	
長期借入金	2,348,280,000 円
その他	614,656,785 円
合 計	2,962,936,785 円
2. 流 動 負 債	
短期借入金	241,640,000 円
その他	1,187,998,614 円
合 計	1,429,638,614 円
三. 正 味 財 産 (資産総額－負債総額)	17,691,165,278 円

Ⅲ. 監査報告書

謄 本

監 査 報 告 書

学校法人 鈴鹿医療科学大学
理事長 高木 純一 殿

令和2年5月26日
監 事 種 橋 潤 治

令和2年5月26日
監 事 山 部 芳 則

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人鈴鹿医療科学大学寄附行為第15条の規定に基づき、令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)における学校法人鈴鹿医療科学大学の業務及び財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。監査の方法とその結果について次の通り報告いたします。

記

1. 監査の方法

理事会に出席して理事から業務の報告を聴取し、重要な書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、令和元年度の財政状態及び経営状況を、法令若しくは寄附行為に従い正しく示していることを認めます。
- (2) 学校法人の業務及び財産に関する不正の行為、理事の業務執行の状況または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないことを認めます。

以 上